

PFLJ 令和5年度 事業計画

啓発事業

●HP・広報

- ・ ホームページのリニューアルを行い、より活動に興味を持ってもらい活動に参加していただけるよう繋げる
- ・ 広報ツールとして新たにインスタグラムの運用を開始する
- ・ チラシ掲載やプレスリリースの配信に力を入れる

●会員の増員

- ・ SNSを中心に会員でのサポート協力を声かけする

●ドクタードッグ

- ・ アジア動物基金より活動を継承し、活動を継続する
- ・ ロゴを新しくリニューアルする
- ・ 新しいドクタードッグの活動の場を開拓する
- ・ ドクタードッグへの研修を行う

救済事業

1) 動物の救済

●救済目標数

- ・ 引き取り・譲渡による救済 20頭
- ・ 里親探しなどの協力による救済 10頭
- ・ ミルクボランティア・一時預かりなどの協力による救済 30頭
- ・ しつけ方指導、飼い方指導、里親探し指導など、指導による救済 400頭

●救済動物

- ・ 行政と連携し社会化、トレーニングの協力・引き取り・里親探し支援を行う
- ・ 問題行動による飼育環境や飼い主との関係改善のための一時保護などの支援を行う
(継続)

●リホーム家族対応

- ・ アフター・フォローの充実(定期的なコンタクトによる飼育相談)
- ・ LINE@を活用し、飼育相談を行う

●ボランティアの充足

- ・ ボランティアコーディネーターを設置する

●リホーム家庭の開拓

- ・ 広報の支援者を募り、イベントでのパンフレットの配布など依頼する
- ・ HPの紹介ページをよりマッチングに繋がられるよう改善する

●飼い主入院時安心サポート

- ・ 既存の登録者の更新状況を確認し、新たな受け入れ頭数を確保できるよう努める

●新シェルター建設

- ・ 広報・候補地の選択など、シェルター建設への準備(継続)
- ・ 基金の集計・目標達成までを随時会員通信・会報誌で報告(継続)

2) 動物飼養指導

●社会化スクール

- ・犬の社会性を身に付ける場所を提供するほか、個体に合わせた基礎トレーニングを行い、飼い主に指導する（継続）
- ・スクールの様子を LINE で飼い主に共有し社会化の進捗を一緒に確認していく

●しつけ方教室

- ・問題行動で悩む飼い主に対し、メールや電話でもフォローを行う
- ・各教室のチラシを作成し、参加しやすいよう情報を提供する
- ・仔犬の飼育サポートのプログラムを考え、飼い主のサポートを行う

●飼育物品の推奨

- ・フード購入者に定期的にフォローをし、用途や個体に合わせたフードを勧める
- ・しつけ方教室と連携し個体にあったしつけグッズを提案する

動物福祉教育事業

- ・ペットくらぶを新たに設け、年齢層別にあつた教育プログラムを実施する
- ・保育園など児童施設の訪問を行う
- ・教育関係者との座談会を開催し意見交換を行い向上に努める

街頭活動事業

- ・ボランティアに参加することで得られる社会への役割や魅力を広報し増加を図る
- ・イベントへの参加を検討し、事業の紹介・広報を行い活動への支援者増加を図る

募金箱設置活動

- ・既存設置店を SNS などで紹介し、設置場所の認知を向上する
- ・設置店へステッカーを配布し、店舗利用者に募金箱設置店ということを周知する

その他

- ・助成金の申請に取り組む

スタッフの知識・技術の向上

- ・勉強会・講習会を定期的に行う
- ・各種講習会・研修会へのスタッフ派遣
- ・資格取得へのサポートを行う